



Italian Living Innovation

(伊)デロンギ社製 暖炉型電気ファンヒーター

型式番号

SFA2040J

- ▶ 1400W
- ▶ 調光機能付
- ▶ 疑似煙突、疑似木片、疑似石炭付

家庭用



Made in China

取扱説明書

この度は、デロンギヒーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	1～3
各部の名称とはたらき	4
装飾品の取り付けについて	5～6
操作手順	7
電球の交換について	8
お手入れについて	8
故障かな？	9
知っておいていただきたいこと	10
真心点検について	10
仕様	10
アフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の3つに分け、明示しています。

⚠ 危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。

⚠ 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意

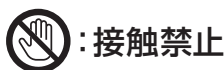
この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



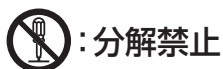
: 禁止



: 接触禁止



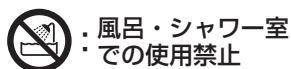
: 水ぬれ禁止



: 分解禁止



: ぬれ手禁止



: 風呂・シャワー室での使用禁止



: 覆い被せ禁止

この絵表示は必ず実行していただく「強制」内容です。



: 指示を守る



: 電源プラグを抜く

⚠ 危険

- 穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない。特に子供のいたずらに注意する
感電やケガをすることがあります。



警告

【電源／コンセントについて】

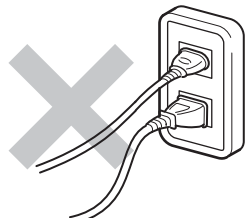
- 電源は交流 100V (50/60Hz) で「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。



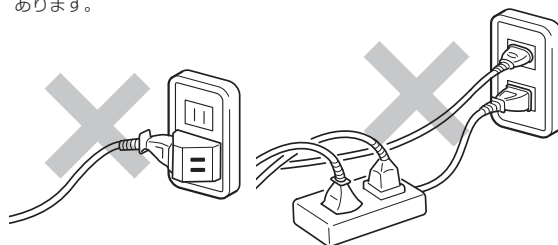
15A 125V



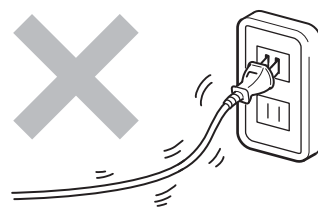
- コンセントは本製品だけ（単独）で使用する
コンセントの差し込み口が2つある場合は片方の差し込み口を使用しないでください。



- 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使わない
コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。

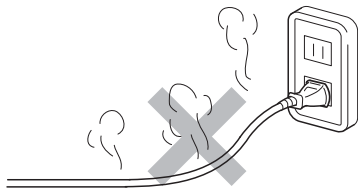


- 取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない
取付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差し込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。



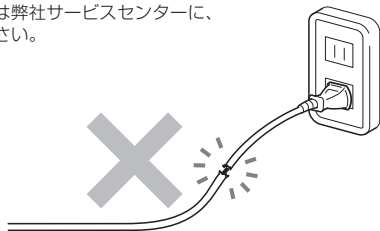
**警告****【電源プラグ／電源コードについて】**

- **電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**
ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電力切替スイッチで電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）にご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。



- **変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない**

感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンターに、交換を依頼してください。



- **運転の際に電源コードが余っても束ねない**
熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。



- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
感電する恐れがあります。



- **動作中に電源プラグを抜き差ししない**
ヒーターの運転中に、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電・火災の原因になります。



- **電源プラグは、根元までしっかりと差し込む**
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。



- **電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く**
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



- **電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない**
電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物に載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

**【設置場所について】**

- **テーブルや机の下で使わない**

ヒーターの上部をふさぐと、火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。（設置場所については4ページ参照）

**【使用中／使用後について】**

- **逆さまや横倒し、立てかけて使わない**
火災や故障などの恐れがあり、危険です。



- **本製品を分解したり、改造をしない**
故障や発火の恐れがあります。



- **お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない**
ヤケド・感電・ケガの原因になります。



- **スプレー缶などを送風孔の近くに置かない**
スプレー缶が破裂し、火災の原因になります。



- **猫や犬など、ペットの暖房に使わない**
ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。



- **本体をふとんなどで覆わない**
本体（送風孔や吸い込み孔など）を覆うように布団や毛布などをかけたり、濡れたもの（洗濯物など）の乾燥に利用しないでください。過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



- **カーテンなど燃え易いものの近くで使用しない**
カーテンなどが本体を覆ってしまうと、過熱により火災の恐れがあります。（設置場所については4ページ参照）



- **長時間同じ箇所を暖めない**
比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ場所を暖めていると低温火傷のおそれがあります。

**【運転中について】**

- **異常が生じた場合は、使用を中止する**
万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご連絡ください。



- **ヒーターに寄りかからない**
ヒーターを踏み台にしたり、腰をかけたり、寄りかかったりしないでください。ヤケド・感電・ケガの原因になります。

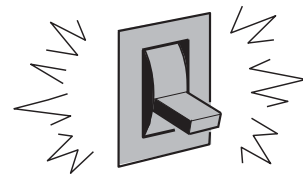
**【お手入れについて】**

- **本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う**
ヤケド・感電・ケガの原因になります。

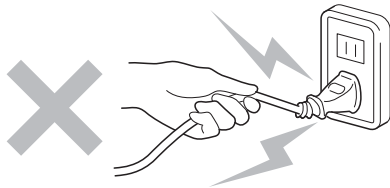


**注意****【電源について】****● ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する**

ヒーターを運転中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。詳しくは、10 ページ「知っておいていただきたいこと」を参照してください。

**【電源プラグ／電源コードについて】****● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く**

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。

**● 運転中は、電源コードを本体に触れさせない**

熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。

**【設置場所について】****● 屋外や水／湿気の多い場所（部屋）、浴室で使わない**

ショートや感電の恐れがあります。また、硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害の恐れがある場所で使用しないでください。故障の原因となります。

**● 毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置く**

ヒーターが倒れるとケガや事故の恐れがあります。

**● 人や家具などからは、1m 以上離す**

ヒーターを寝室でご使用される場合、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考慮して約 1 m 以上の距離を取ってください。

**【使用中／使用後について】****● ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行う**

必ず本体を持ち上げて移動してください。引きずると、床面や敷物を傷つける場合があります。

**● 本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する**

感電・火災・ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒・落下してしまった場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご連絡ください。

**● 小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う**

運転中および運転していないときもお子様はヒーターのそばにいるときは大人の方が付き添ってください。特にヒーター底部に触れさせないようにご注意ください。

**● 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く**

誤って、電源が入る恐れがあります。

**【運転中について】****● 本体や操作部に水やジュースをこぼさない**

本体や操作部（サーモスタット、電力切替えスイッチ、擬似炎調光ツマミ）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止します。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご連絡ください。

**● 運転中および停止直後は、送風孔に触れない**

送風孔表面は、高温になりますので触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。

**【お手入れ／電球の交換について】****● 絶対に水に浸したり、水洗いをしない****● 必ず電源プラグを抜き、本体が冷えてから電球を交換する**

必ず電力切替えスイッチで電源を切り、コンセントより電源プラグを抜いてから電球の交換を行ってください。また、ヒーター使用後はしばらくは電球が熱くなっています。十分に本体を冷ましてから交換を行ってください。ヤケドをする恐れがあります。

**● 洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使わない****● 指定の電球以外は使用しない**

E26 口金、100V、40W の白熱電球以外使用しないでください。



各部の名称とはたらき

ふた

疑似煙突を取り付けない場合に、本体上部のくぼみ部分にふたをします。

※ ふたは付属しています。

ファンヒーター用 サーモスタット (ツマミ)

室温 (= 適温) の設定に使用します。設定後はヒーターの運転を自動制御し、適温を一定に保ちます。ツマミを右に回すほど温度が高くなります。

ファンヒーター用 電力切替えスイッチ



○: 電源 OFF

☀: 暖房運転をせず、疑似炎の照明のみの場合に使用します。

I: 弱 (900W)*

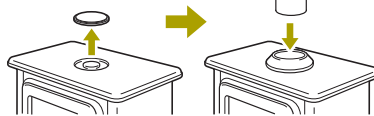
II: 強 (1400W)*

* 疑似炎調光ツマミ最大時

送風孔

温風が出てきます。送風孔の前に物を置かないでください。ふさぐと危険です。

疑似煙突を取り付ける場合は、ふたを取り除き、「装飾品の取り付けについて」(5 ページ) の手順に従って取り付けてください。

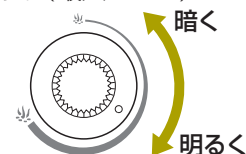


吸い込み孔

本体
背面図

疑似炎調光ツマミ

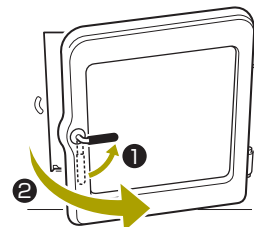
疑似炎の明るさを調節します。右に回すほど明るくなります。(最大 80W)



※イラスト内の疑似炎は、説明のために表示しています。電源が入っていない状態では、疑似炎はライトアップされません。

ドア

ドアは取っ手を回してから開けてください。



取っ手

取っ手を回してドアを開けます。

疑似木片

お好みで、同梱の疑似木片や疑似石炭を飾ります。

電源プラグ

電源コード

付属品：ふた、フランジ (2個)、疑似煙突、疑似木片、疑似石炭、ネジ (2 本)、プラグ (ネジ受け)



注意

本体質量が重いので、床の素材によっては脚のあとが付く場合があります。木片やゴムシートを脚の下に設置することをおすすめします。

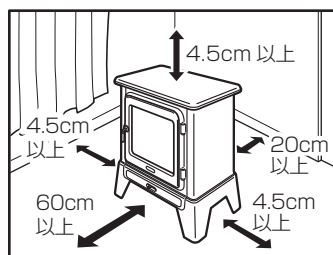


警告

送風孔の前に物を置いたり、本体背面の吸い込み孔をカーテンや布などで覆わないでください。

設置場所

ヒーターは燃えやすいものから以下の距離を取り、設置してください。



特にヒーター背面は、吸い込み孔から空気を吸い込めるように、壁やカーテンから 20cm 以上離して設置してください。また、ヒーター送風孔 (前面) と、家具や壁、カーテンの間は 60cm 以上離すようにして、温風が直接当たらないようにしてください。



警告

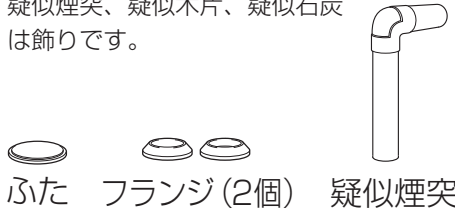
温風は、送風孔に近いほど温度が高くなりますので、送風孔に近づき過ぎないように注意してください。また、比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ場所を暖めると、低温火傷の恐れがあります。

装飾品の取り付けについて

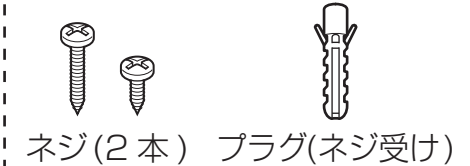
お好みに合わせて付属品で装飾が楽しめます。(本体の機能とは関係ありません。)
装飾品の取り付けの前に、以下の付属品が同梱されているか確認してください。

付属品(装飾品)

※ 疑似煙突、疑似木片、疑似石炭は飾りです。



疑似煙突取り付け用



疑似煙突の取り付け方

※取り付け作業は二人以上で行うことをおすすめします。

※プラスドライバーをご用意ください(ネジが効かない壁材の場合は、径 6mm のドリルをご用意ください)。

1 設置場所を決める

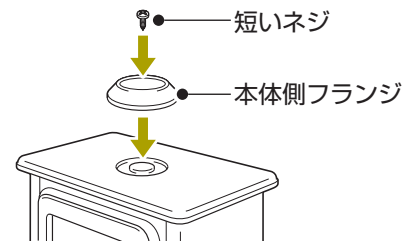
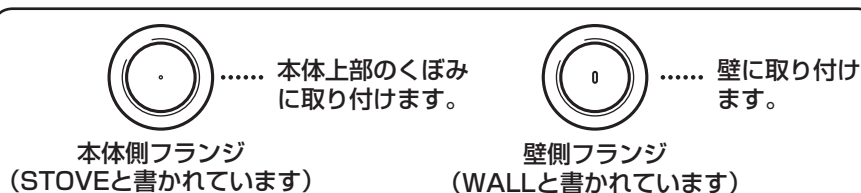
壁に、ポスターやカレンダー、絵などが貼られていない場所に設置してください。



延長コードは使用できませんので、電源コードが届く位置に設置してください。

警告

2 付属の短いネジで、本体側フランジを本体上部のくぼみに取り付ける

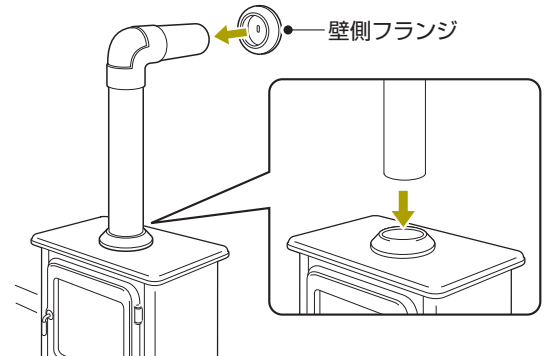
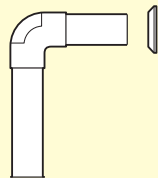


3 疑似煙突に壁側フランジを取り付け、本体側フランジにはめ込む



注意

疑似煙突の短い方に、壁側フランジを取り付けてください。

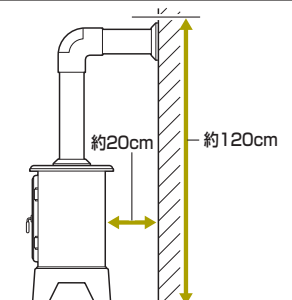


4 疑似煙突にゆがみが出ないように、本体と壁の距離を調節する



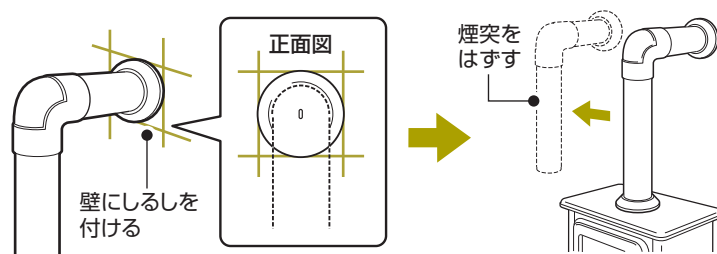
注意

・本体と壁の距離を調節する際、本体を引きずらないようにしてください。
・疑似煙突に物を掛けたり、小さなお子様がぶら下がり遊ばないようにしてください。



5

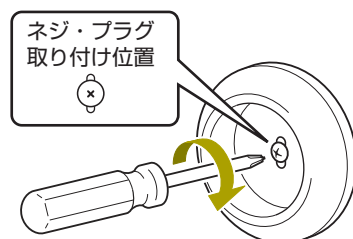
壁側フランジの取り付け位置がずれないように、えんぴつなどで壁にしるしを付け、疑似煙突を一旦はずす



6

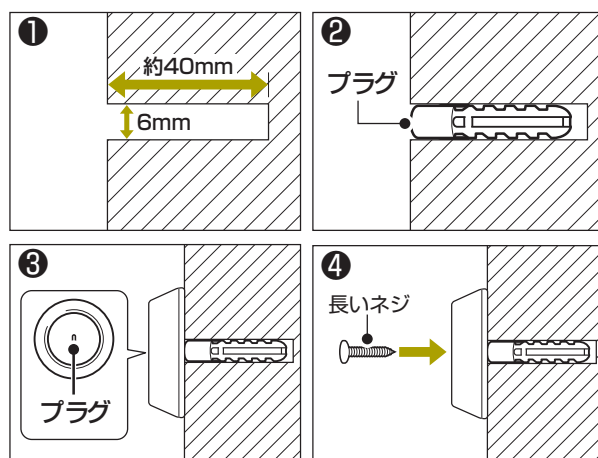
壁側フランジを手順 5 で付けたしるしに合わせ、付属の長いネジで壁に取り付ける

※ ネジが効かない壁材の場合は、付属のプラグをご使用ください。



付属のプラグを使った取り付け方

- ① 壁側フランジを手順 5 で付けたしるしに合わせ、プラグを取り付ける位置にしるしを付ける。その後、付けたしるしの位置に径 6mm のドリルで深さ約 40mm の穴を開ける。
- ② 開けた穴に、金づちなどで付属のプラグを打ち込む。
- ③ 壁側フランジのネジ穴を、打ち込んだプラグに合わせる。
- ④ 付属の長いネジをプラグにねじ込み、壁側フランジを取り付ける。



注意

石膏ボードなどを使用している厚さ 40 mm 以下の壁には、付属のプラグを使用しないでください。お近くのホームセンターで石膏ボード用アンカーなどをお求めになり、壁側フランジの取り付けを行ってください。

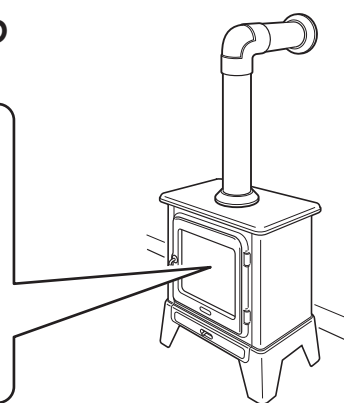
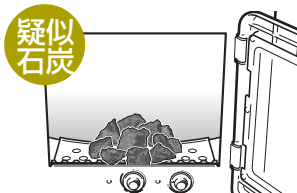
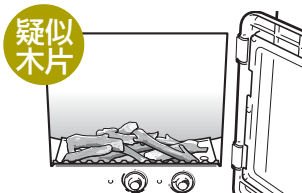


石膏ボード用アンカー例

7

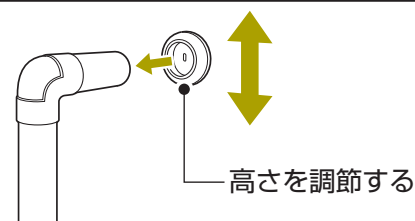
壁側フランジに合わせ、疑似煙突を取り付ける

お好みで、付属の疑似木片や疑似石炭を飾り付けます。



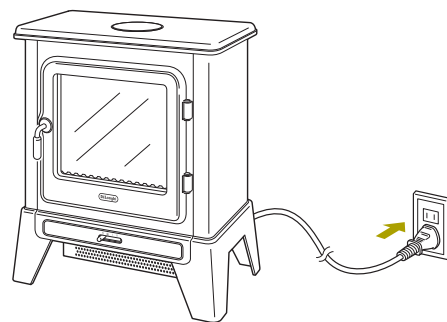
ヒント

壁側フランジの位置が合わなかった場合は、一旦疑似煙突をはずし、壁側フランジを上下に動かして高さを調節してください。

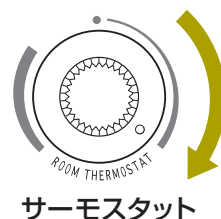


操作手順

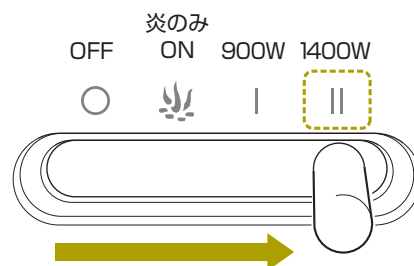
- 1 電源プラグをコンセントに差し込む。**
電源プラグを壁面のコンセントに直接差し込みます。
根元までしっかりと入れてください。また、電源コードは伸ばした状態でご使用ください。
⊗ 延長コードは絶対に使用しないでください。



- 2 サーモスタットを最大にセットする。**
サーモスタットのつまみを右いっぱいにするまで回し、出力レベルを最大にセットします。

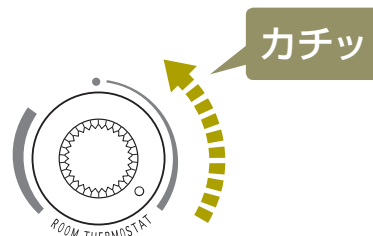


- 3 暖房運転を開始する(電源を入れる)。**
電力切替えスイッチを I あるいは II の位置にします。送風孔から温風が出てきます。
※イラストは II に合わせている図です。



- 4 サーモスタットを設定する。**
お好みの温度(適温)になったら、サーモスタットをゆっくりと左方向(反時計回り)に回し、カチッと音がしたところで止めます。

これで適温が設定され、温風が停止します。後は自動的に入/切を繰り返しながら適温を保ちます。



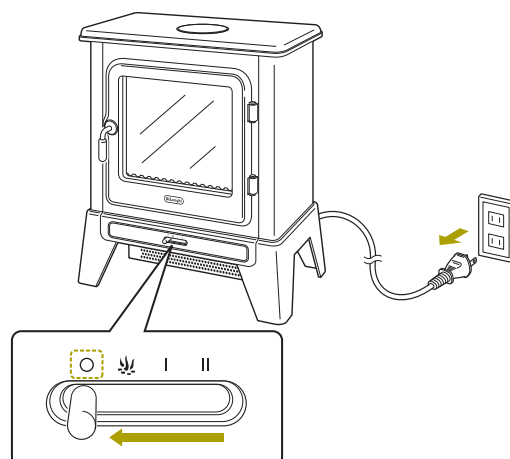
- ▶ 適温を上げるときは、右(時計回り)に回し、下げるときは左(反時計回り)に回します。

- 5 暖房運転を停止する(電源を切る)。**
電力切替えスイッチを○の位置に戻して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。



注意

送風孔は、停止後もしばらくは熱いので、触れないでください。



電球の交換について

電球が切れたら、次の手順に従って交換してください。※プラスドライバーをご用意ください。

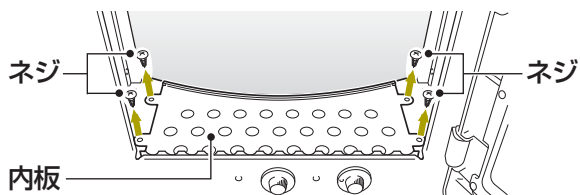


注意

- ・必ず電力切替えスイッチで電源を切り、コンセントより電源プラグを抜いてから交換を行なってください。
- ・使用後しばらくは電球が熱くなっています。十分に冷ましてから交換を行なってください。
- ・E26 口金、100V、40W の白熱電球以外使用しないでください。（電球は、一般電気店でお求めいただけます。）

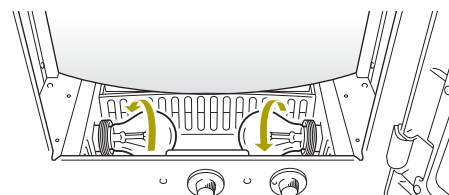
1

ネジ（4箇所）をはずして内板を取りはずす。



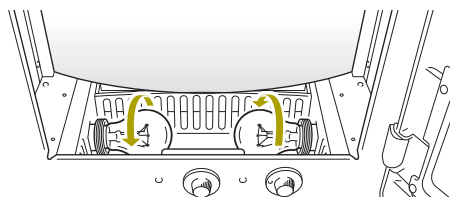
3

新しい電球を取り付ける。



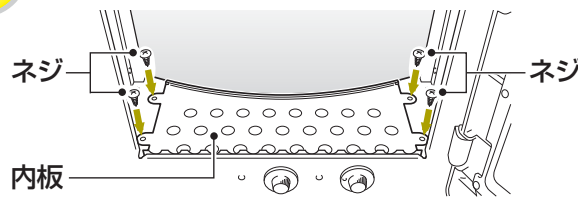
2

電球を取りはずす。



4

ネジで内板を取り付ける。



お手入れについて



お手入れをする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行なってください。



水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。

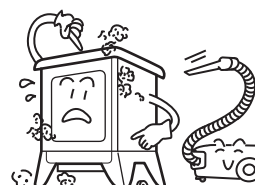
お手入れは、定期的に行なってください。



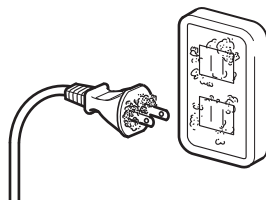
- 本体、疑似煙突は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



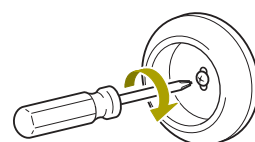
- 本体および壁と床とのすき間に溜まっているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



- 壁面コンセント（刃受）および電源プラグ（栓刃）に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



- 疑似煙突を固定しているネジにゆるみがないかを確認し、ゆるんでいる場合は、ドライバーでしっかりと締めてください。



故障かな？ 修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチを○の位置に戻して電源を切り（＝運転を中止し）、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は裏表紙「アフターサービス」を参照してください。

症 状（状態）	予想される原因	対処のしかた
電力切替えスイッチを入れても電源が入らない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる	延長コードを使ったり、タコ足配線をしている	延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格 15A の壁面コンセントに直接差し込みます。
	電源プラグ（栓刃）を、根元までコンセントに差し込んでいない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりと差し込みます。不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。
	差し込み口（刃受）が 2 つあるコンセントで、両方の差し込み口を使用している	差し込み口（刃受）が 2 つある壁面コンセントを使用する際は、必ず、片方の差し込み口を空けてください。
	コンセントがガタついたり、差し込み口（刃受）がゆるい	お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ／電源コードが傷付いたり、変形・破損している	お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に、修理・交換を依頼してください。
	電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている	電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止めてください。
	電源コードを解いていない。束ねた状態で使用している	余ったコードも、必ず伸ばした状態で使用してください。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れがあります。
	電源プラグやコンセントに、ゴミやホコリが付着している	定期的に、付着しているゴミやホコリを取り除いてください。
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件（断熱材や位置、部屋の広さなど）によって異なります	電力切替えスイッチがⅠ（弱）の位置にある	電力切替えスイッチをⅡ（強）の位置にし、電力レベルを最大にしてください。
使用中、温風が出てこない	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのツマミを右（時計回り）に止るまで回し、出力レベルを最大にしてください。
	電力切替えスイッチが  の位置にある	電力切替えスイッチをⅠ（弱）あるいはⅡ（強）の位置にしてください。
	本体背面がカーテンや布などで覆われている	本体背面をカーテンや布などで覆わないでください。背面を覆うと内部温度センサーの周辺温度が上昇し、安全装置により運転が停止します。電力切替えスイッチを○の位置に戻して電源を切り、本体を冷ましてください。その後、通常の使用手順に従って暖房運転を再開してください。

知っておいていただきたいこと

定格電流について

本製品の定格電流は、14A（アンペア）です。ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、契約電力（電気料金の請求書「基本契約欄」に00Aと記載）を超えていない

かどうか確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流 (A)} = \frac{\text{消費電力 (W)}}{100(\text{V: 電圧})}$$

ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。契約電力が不足している

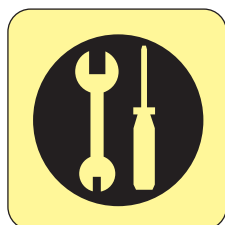
場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

電気代(目安)について

1時間当りの電気代（目安）は、暖房する部屋の諸条件（広さ、断熱および密閉性能など）により異なりますが、おおよそ右記の通りです。（1kW/h = 22円として算出した場合）

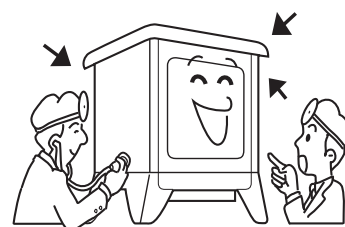
電力レベル：Ⅱ(強) 1400W	部屋が適温に達した後 サーモスタットで自動制御 (ヒーター稼働率：60%の場合)
約31円/時間	約18円/時間

真心点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をお勧めします。

保証期間（3年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、弊社サービスセンター（裏表紙参照）までお問い合わせください。



仕様

製品名称	デロンギ 暖炉型電気ファンヒーター	
型式番号	SFA2040J	
適用畳数	3～9畳	
定格	電圧／周波数	交流 100V／50/60Hz
	消費電力	弱：900W 強：1400W（調光用白熱ランプ 40W × 2 含む）
外形寸法／質量（※）		幅 51.0 × 奥行 35.0 × 高さ 56.5cm／14.0Kg
安全装置		転倒時自動電源遮断装置・復帰型安全ヒューズ
付属品	ふた、フランジ（2個）、疑似煙突、疑似木片、疑似石炭、ネジ（2本）、プラグ（ネジ受け）	

※外形寸法および質量は、付属品を除いた数値です。

アフターサービス

- 1) 使用中に異常(★)が生じた場合は、直ちに電力切替スイッチで電源を切り(＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、9 ページ「故障かな?」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター(下記参照)にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体や操作部に、水やジュース(液体)などをこぼした
- ・本体に、強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

- 2) 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期 ②製品名称と型式番号 ③故障の状況 ――を連絡のうえ、修理を依頼してください。
 ※宅配便等を利用して弊社サービスセンター(下記参照)に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いいたします。
 ※お送り先については、事前にお電話(下記参照)、あるいはホームページ(<http://support.delonghi.co.jp>)にてご確認ください。
- 3) 保証期間中(3 年)は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。
- 4) 補修用性能部品の保有期間について
 弊社では、このヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に 6 年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 5) デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター(下記参照)までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30 ~ 18:00)

コールセンター

修理について

Tel.0120-804-280

Tel.0120-692-885

お問い合わせ

Tel.0120-064-300

Tel.0120-692-880

Fax.045-450-3291

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ(URL) ―― <http://support.delonghi.co.jp>



デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル

www.delonghi.co.jp イタリアのライフスタイル情報満載! 会員登録でプレゼントのチャンスも!

